 JA 筑前あさくら

特集



自己改革への挑戦



(左上から横へ) ◇イチゴPC (パッケージセンター) で「あまおう」を調整出荷 ◇ふくおか農林漁業新規就業相談会 ◇低コスト肥料の開発 ◇各地区で開催する親子料理教室

目次

特集「自己改革への挑戦」 2

生産者訪問「魅力ある農業の創造へ」	4
組合員アンケート調査 結果報告	6
輝け!スマイル	
JA筑前あさくら 農業ボランティアセンター活動中! ..	10
女性部きらり・JAあさひな通信	11
トピックス	12

普及指導センター営農講座	14
営農センターだより	15
あぐりキッズスクール第12期生募集のお知らせ ..	16
みんなのひろば	17
イベントインフォメーション・あぐりキッズ写真館 ..	18
クイズ?頭の体操・理事会だより・概況	19
旬素材・営農センター臨時休業と 営業時間変更のお知らせ	20



特集

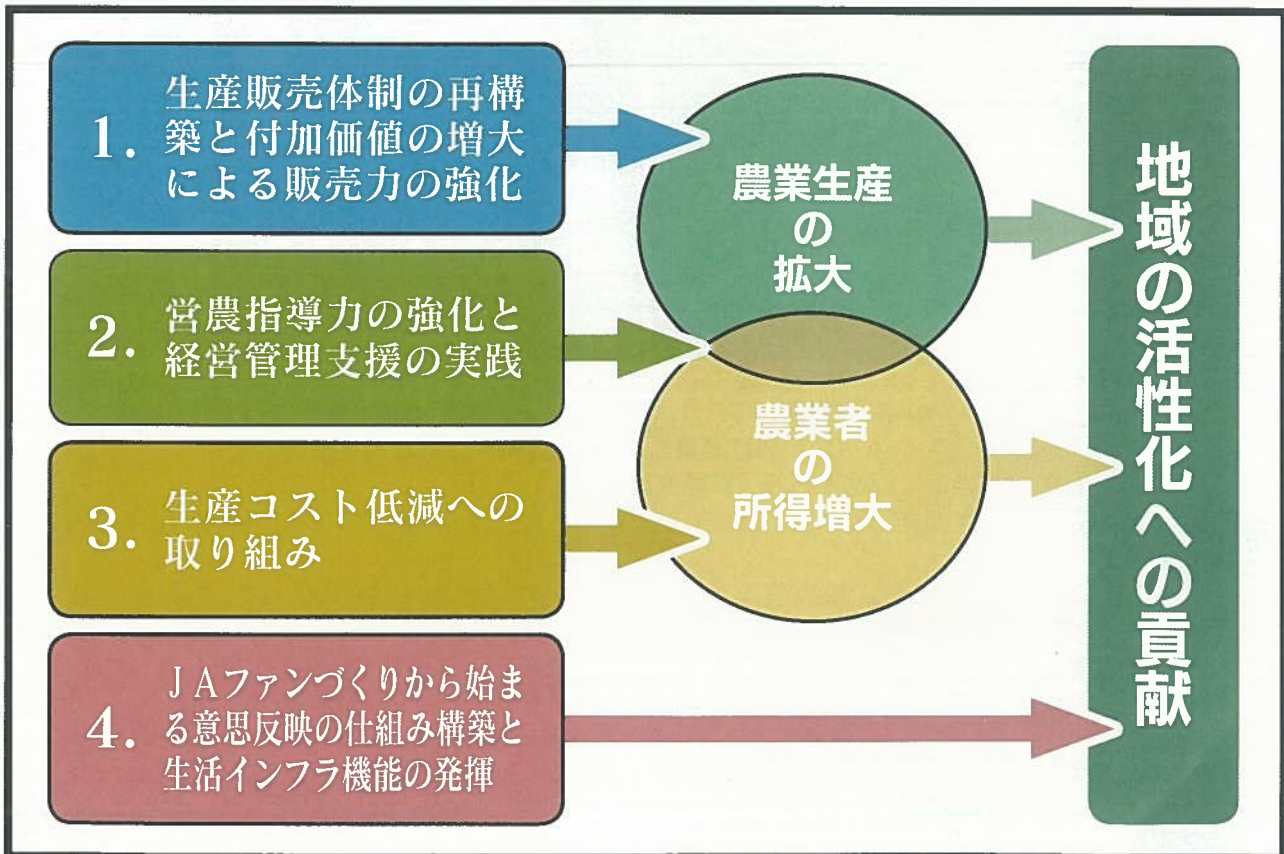
JA筑前あさくら

自己改革への挑戦

当 JA の農業を取り巻く環境は、農業就業人口の減少による生産面積の縮小、後継者不足による正組合員の減少などの社会的な問題や生産調整の仕組みの見直しなど、直面する課題は山積みです。さらに、政府による「農協改革」に伴う農協法改正は JA 組織の運営に大きな変化を求めています。厳しい状況の中、当 JA では、自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化への貢献」の実現に向けて、当 JA が取り組まなければならない重点事項を各部門が実践プランとして計画し、進めているところです。今回は、自己改革の達成に向けた当 JA の取り組みを紹介します。

■ 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」 「地域の活性化への貢献」の実現に向けて

1. 生産販売体制の再構築と付加価値の増大による販売力の強化
2. 営農指導力の強化と経営管理支援の実践
3. 生産コスト低減への取り組み
4. JAファンづくりから始まる意思反映の仕組み構築と生活インフラ機能の発揮



1. 生産販売体制の再構築と付加価値の増大による販売力の強化

- ◆主要品目「かき」「博多万能ねぎ」「苺」の単収拡大
- ◆農業振興計画に基づいた生産体制の整備による園芸作物の作付拡大（加工用ニンジン、加工用ジャガイモ、加工用ハウレン草）
- ◆パッケージセンター（PC）の充実による農家支援体制の確立
イチゴPCの生産者拡大、「博多万能ねぎ」PCの検討・稼働
- ◆実需者のニーズに応じた品種の作付拡大（秋王、シャインマスカット、とよみつひめ）
- ◆果樹（かき・梨）・加工品の輸出取扱高の拡大
- ◆6次化商品の開発促進、売上向上
- ◆特定契約米（相対契約米）の契約先の拡大による有利販売の展開



▲柿の輸出向けの検疫

2. 営農指導力の強化と経営管理支援の実践

- ◆総合選果場稼働による集出荷の効率化に向けた営農指導員体制の再構築や指導力の強化に向けた有資格営農指導員の育成
- ◆新規就農支援施設の建設、受入農家制度の有効活用による新規就農者の確保
- ◆TAC(担い手に出向く担当者)による担い手経営体に出向く体制整備と各関係部署との連携による総合的な相談・支援・提案機能の発揮、担い手の課題解決



▲営農指導員による高品質栽培に向けた栽培指導

3. 生産コスト低減への取り組み

- ◆県内9JAで組織する「久留米地区JA間ネットワーク」で、低コスト肥料の開発提案の実施。全農ならびにメーカーと連携した低価格の生産資材の開発、普及につなげる他、肥料の銘柄を集約し、製造コストの見直しや価格引下げへの取り組み



▲対象銘柄のひとつ「くみあい48」

4. JAファンづくりから始まる意思反映の仕組み構築と生活インフラ機能の発揮

- ◆地域密着活動の着実な実践による地域コミュニティの活性化
新たな「JAファンづくり」活動として、次世代対策に向けたJAにじとの合同による野球大会の開催。「あぐりキッズスクール」「スマイルあぐりスクール」「親子料理教室」の開催を通じた食農教育活動の推進
- ◆総合相続相談担当の明確化
相続に関する手続きを踏まえた総合的な対応ができるコンシェルジュ(総合案内人)的職員の育成。本店および各支店と連携し、利用者が望む全ての手続きを一人の担当者が行う手続きのワンストップ化による利用者の利便性向上
- ◆女性正組合員の加入促進による組織の活性化
- ◆広報企画委員会を通じた全員参加型の広報体制の構築
各部署、各支店と連携して情報共有し、より地域に密着した広い情報収集・情報発信へ



▲ちびっ子軟式野球大会